

## 石西礁湖自然再生の普及啓発に関する議事経過（中間報告）

### 1. 議論の方向性

石西礁湖自然再生全体構想の趣旨に沿って、多岐にわたるサンゴ礁生態系保全の関係者のみならず広く一般に、その理解を求め、協力してもらい、当該自然再生の取り組みの主体になってもらうよう、特に以下の3つについて、どの様な普及啓発を実施すべきか、具体的にどの様な普及啓発ができるかについて議論を重ねてきたところ。

- ① サンゴ礁生態系に関する一般的な理解の増進
- ② 関連産業、生活等における意識の向上
- ③ 観光客等の意識向上につながる観光の推進

### 2. 議論の経過（【DG】協議会のディスカッショングループ、【WS】行動計画案作成ワークショップ）

- ① 【DG】；誰に何を啓発していくか、していけるかを明確にするため、具体的な啓発手法について意見出しを行った。
- ② 【DG】；石西礁湖自然再生に関わる普及啓発を実施する者としては、協議会メンバーが主体的に行っていくものであるとした。
- ③ 【DG】；石西礁湖自然再生に関する普及啓発を適切に推進していくために、どの様な体制・枠組みを持つべきか議論を重ねた。
- ④ 【DG】；既に取り組みされている活動事例について分類整理し、その優先度（サンゴ礁環境負荷が大きいもの）から「観光」（八重山地域で最重要産業であるため）と「地域コミュニティ」（地元生活上、恒常的な負荷をかけているとともに、長期的な取り組みをしていく必要があるため）の2テーマを特出し、先行的に議論を深めていくこととした。
- ⑤ 【DG】；議論を円滑に進めていくため、普及啓発Gメーリングリストを立ち上げた。
- ⑥ 【WS】；【DG】を補完する行動計画案作成集会を立ち上げ、とりまとめ役（観光；金城氏、<sup>とおじ</sup>通事氏、地域コミュニティ；竹川氏、太田氏）を中心に、このテーマにおける普及啓発の具体的な趣旨、対象、内容方法について議論を深めた。
- ⑦ 【DG】；これまでの議論を踏まえ、作成していく行動計画は、石西礁湖自然再生の普及啓発を誰にどの様な内容をどの様な方法でどの様に理解してもらうかを示しているものとする、自然再生の取組への参加を促すようなものとする。また、次のステップとして、行動計画で具体的に示した普及啓発の行動をのうち、優先順位及び実行可能性の高い案件を特出していくこととした。
- ⑧ 【WS】；行動計画となる各要素「石西礁湖自然再生の行動計画とは？」、「石西礁湖自然再生の普及啓発とは？」、「石西礁湖自然再生の具体的な行動とは？（観光）&（地域コミュニティ）」についての草案を議論した。i）行動計画の実施状況を取りまとめる機能の設置、ii）石西礁湖自然再生における普及啓発の定義の明確化、iii）取組実施者の指針となる文言に整理の作業が必要であると指摘された。

### 3. 今後の進め方

行動計画素案をたたき台として、議論を深めていく。

# 石西礁湖自然再生の普及啓発に関する行動計画のイメージ

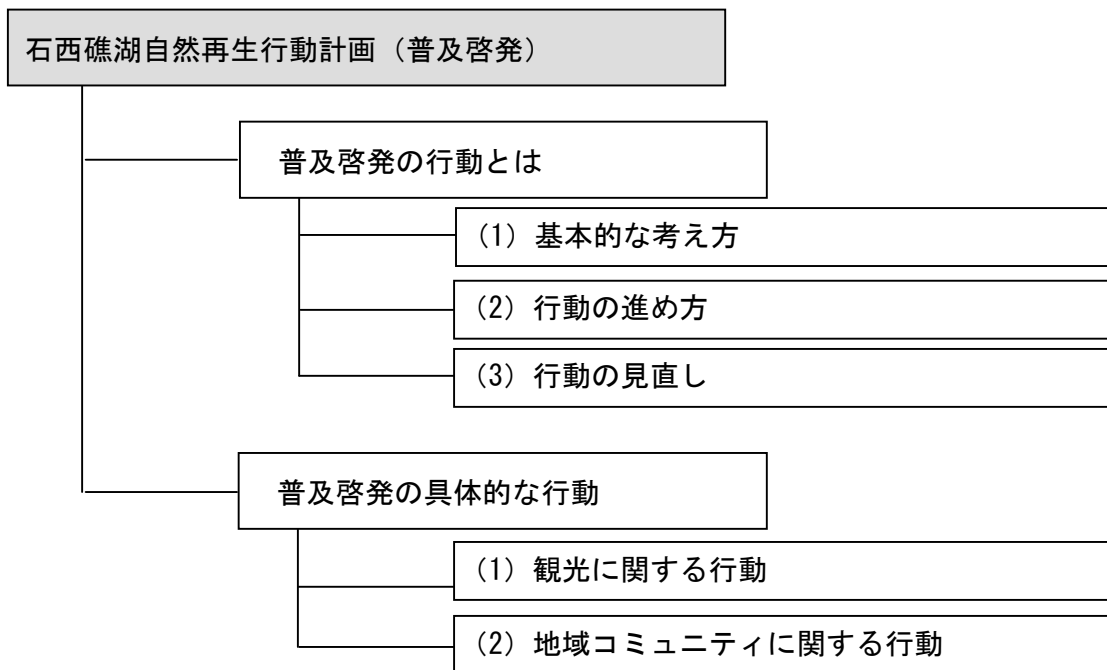


図1 行動計画案の構成

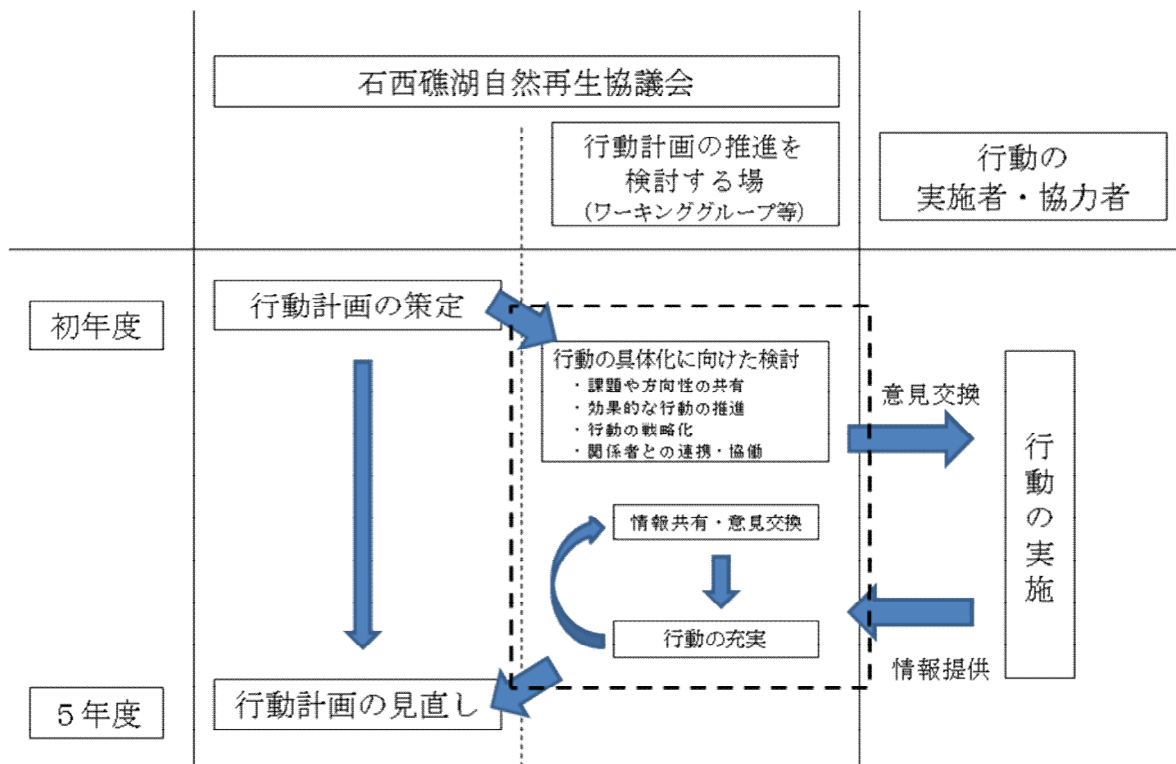


図2：行動の進め方